

進捗状況の概要【1ページ】

1. 総括

本事業により「戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点」の創成に向けた取組は順調に進捗している。また、留学生や研究者の増による様々な share が相乗・協働効果を生んでおり、伊都キャンパスの整備の進展と相まってグローバルハブキャンパスの実現に向けた動きが進んでいる。今後もグローバル化アドバイザー・ボードの提言、外部評価委員会の評価を活用し、PDCA サイクルにより更なる国際化とガバナンス改革を推進する。

2. 進捗状況の概要と成果

(1) 新学部の設置

構想調書で「国際教養学部（仮称）」として示した新学部は、21世紀プログラム、基幹教育等で培ってきた成果をもとに、従来にはない新たな理念に基づく共創学部として立ち上げ、新たな入試制度、入学定員、カリキュラムを整備し、平成30年度開設の準備を進めている。

(2) 教育の国際化

学部レベルでは、カリキュラム・マップの作成、科目ナンバリングの実施、シラバスの英語化及びGPAの改訂といった教育の質を国際的に担保する一連の取組が進んだ。大学院についても平成31年度を目途に整備する予定。また、四学期制の導入、国際コースやダブルディグリープログラムの拡充等が進み、学生流動が一層高まる見通しである。

(3) 研究の国際化

重点領域としてオール九州大学で取組むエネルギー研究教育機構の創設、オーストラリアをはじめ海外の大学との戦略的パートナーシップの推進等、国際共同研究の更なる進展に向けた取組が進んだ。

(4) ガバナンス改革

大学改革活性化制度による戦略的な教員の再配置、国際戦略の策定、学内予算のインセンティブ経費による国際化関連事項の推進、IR室の設置による研究教育に関する諸データの包括的分析、全学の職員のTOEIC-IPの受験等、国際化を支えるガバナンス改革が進んだ。

(5) レピュテーション・マネジメント（RM）

レピュテーション・マネジメント体制（RMユニット）を立ち上げ、RM戦略の策定、世界大学ランキングへの戦略的対応、世界的RMネットワークへの参加等、国際的評価を向上させる基盤を構築した。

(6) 留学生の受入れ・日本人学生の海外留学

留学生の受入れ、日本人学生の海外留学とも目標に沿って増加した。本事業により設置したグローバル学生交流センターはアウトバウンドの支援に成果を発揮し、「トビタテ！留学JAPAN」の合格者が第6期では全国1位、また累計合格者数も全国第2位となった。

(7) 世界大学ランキング

RMユニットで本格的な分析を開始した。また総長主導によるタスクフォースでとりまとめた対応の基本方針と「研究の国際競争力向上の方策」により、今後の順位の向上が期待できる。

3. 今後の課題等

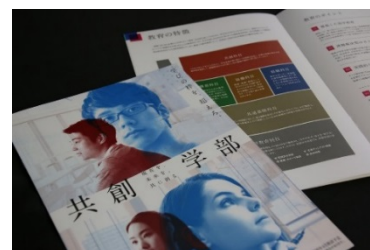
(1) 大学の国際化には、政府・地方自治体・民間との連携が必要であり（学生定員の超過率算定での留学生の取扱いへの配慮、政府や地方自治体の文書やウェブサイトの多言語化、宿舍など環境整備等）、関係機関に働きかける必要がある。

(2) 本学の世界大学ランキングにおける順位は上昇傾向にあるが、現時点では当初の目標には達していない。研究の国際競争力の強化とこれに基づくレピュテーションの向上により、さらなる順位の向上を目指す。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

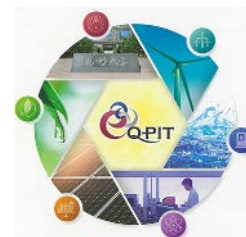
■共創学部の開設

「世界を共に創る」をコンセプトに、能動的学修を主体にしたカリキュラムを整備した新たな学部、共創学部の平成30年度開設の準備を進めている。AO・推薦・一般・国際型入試など多様な選抜方法を取り入れ、既存学部の教員講義による専門性を援用しつつ、留学による異文化理解やコミュニケーション向上も義務づけるなど、共創学部は従来の学部教育にない構想である。



■強み・特色を有する分野の伸張

本学の強み・特色である「エネルギー」に関しオール九州大学で取組む「エネルギー研究教育機構（Q-PIT）」を創設した。「アジア」をキーワードとする研究教育組織も構想している。レピュテーション・マネジメントによる本学の強み・特色の徹底したアピールにより、国際的レピュテーションの向上を実現する。



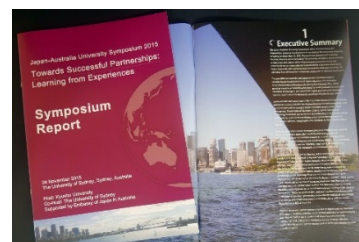
■外部評価の活用

外国人有識者を含む外部評価委員会に加え、国内外の外国人有識者から成るグローバル化アドバイザー・ボードを設置し、国際化とガバナンス全般に関し幅広い提言を受けている。これらに加えて、学内の外国人教員からの意見を大学運営に反映させるために外国人教員アドバイザーグループも設けている。



■レピュテーション・マネジメント（RM）ユニットとRM戦略

本学の国際的レピュテーションの向上を目的に、教職協働体制によるRMユニットを設置した。RMユニットは学内のインターナルコミュニケーションの強化に努めるとともに、RM戦略、広報戦略を策定し、構成員間にRMに関する認識が浸透している。RMユニットは、世界大学ランキングへの対応についても学内を先導している。



■日豪大学間シンポジウム

本学の国際戦略上重要な地域の1つであるオーストラリアのシドニーにおいて、本学の主催により「日豪大学間シンポジウム～成功するパートナーシップ：経験から学ぶ～」を開催した。スーパーグローバル大学創成支援採択大学による取組の紹介も行い、日本の大学のプレゼンスの向上に寄与した。本シンポジウムを契機に、本学とオーストラリアの大学との間で戦略的パートナーシップが進展している。

■留学コーディネーター等による海外留学サポート

本補助金により採用した留学コーディネーターや教員の指導等により日本人学生の海外留学が増加している。トビタテ！留学JAPANの第6期では合格者が全国最多となった。第1期からの累積合格者数も全国第2位となっている。

